

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	<ul style="list-style-type: none"> ・お名前を呼ぶ時、馴れ合いの呼び方になっている。 ・丁寧語や謙譲語、尊敬語を臨機応変に使い分けできていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本である言葉かけを臨機応変に使い分けられる。 ・ご入居者と平等な関係性であり、プライバシーへの配慮が行えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンスで人権擁護、高齢者虐待等の定期的な勉強会を行い意識付けを行う。 ・ユニットリーダー、サブリーダーを中心に日々の言葉かけを見直し、職員同士注意しあう。 	6ヶ月
2	49	<ul style="list-style-type: none"> ・ご入居者と家族を交えた行事ができていない。 ・行事計画での外出支援を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族会を行い施設での生活に安心感を持っていただく。 ・個々の外出や、行事での外出支援が来ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議や意見箱で、家族会(お茶会や食事会等)についてのご意見をいただく。 ・お花見や遠足等、季節に添った外出を計画に盛り込む。 ・週2回の食材買い出し日にお誘いする。 	6ヶ月
3	31	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間、巡回/良眠だけの薄い記録がある。 ・往診時、主治医や訪問看護への情報提供は看護職員や管理者が主に対応しており、夜間のご様子を詳細に報告できないこともある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員個々にご入居者の些細な変化(身体・精神的)に気づける視点をもち対応できる。 ・医療知識のスキルアップを行い、質の高いサービスを提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間、ご様子や気づき些細なことも記録し、状態の把握と支援に繋げる。 ・ユニットリーダーやサブリーダーを中心に職員から主治医や訪問看護に、ご様子報告を行い密な連携を図り協働に努める。 	3ヶ月
4	41	<ul style="list-style-type: none"> ・ご入居者個々に合わせた、足台が少ない。 ・状態変化に合わせたトロミ濃度の判断が、職員間で統一できていない。 ・水分管理が徹底できていない時もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事を楽しみながら、安全に召し上がっていただけるよう環境や、雰囲気作りを行う。 ・体調管理を行い、笑顔で楽しみながら過ごしていただく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事姿勢の見直しとして足台やクッションの活用と、咀嚼状態に合わせ刻みやミキサー食対応/トロミを使用する。 ・定期的な体重測定や、水分管理を行う。 	3ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。